

令和2年7月9日作成  
(令和5年3月10日更新)  
鳥取県くらしの安心推進課

# スポーツイベントにおける

## 事業継続のための新型コロナウイルス感染拡大予防対策例

問合わせ先 新型コロナ克服くらしの安心 相談・応援窓口	東部 県庁くらしの安心推進課 中部 中部総合事務所環境建築局 西部 西部総合事務所米子保健所	☎0857-26-7982 ☎0858-23-3982 ☎0859-31-9340
-----------------------------------	--	---

### スポーツイベントの場面ごとの感染拡大予防対策

#### 1 各場面の共通事項

##### <マスクの着用> 令和5年3月13日から適用

・マスクの着用は個人の判断に委ねられるものですが、営業者が感染対策上又は事業上の理由等により、利用者又は従業員にマスクの着用を求めることは可能です。

マスクの着用は場面に応じて適切に選択しましょう。

従業員のマスクの着用は、従業員の感染防止とお客様を守ることにもつな갑니다。

マスクの着用を推奨する場面等、店舗の感染対策の内容を掲示しましょう。

##### <従業員がマスクを着用する場面の例>

- ・一定時間以上の会話や近い距離での接客

##### <お客様にマスクの着用を推奨する場面の例>

- ・換気が十分にできない場面
- ・混雑した場面
- ・大声を出す場面
- ・重症化リスクの高い方がいる場面 など

#### 2 準備

##### (1) 企画

- ・屋内イベントの場合は、換気扇等の換気設備があったり、開放可能な扉や窓が複数箇所にある会場を選びましょう。
- ・駐車場や最寄り駅から会場までの道路でお客様が密集状態にならないよう、会場までの複数の経路及び移動手段を設定しましょう。
  - ▶混雑が生じて近隣住民の迷惑にならないよう、スタッフがお客様を誘導しましょう。
  - ▶シャトルバス等を運行する場合は、バス内やバス停付近の混雑にも注意しましょう。
  - ▶お客様が公共交通機関を利用することが見込まれる場合は、車両の増結、臨時便の運行等、混雑対策について検討・調整しましょう。
- ・機材の搬入や選手の動線とお客様の動線は可能な限り分離しましょう。
  - ▶屋内イベントの場合は、会場裏口等を活用しましょう。
  - ▶やむを得ず競技者が客席の間を入退場する場合は、ハイタッチ等によるお客様と競技者が密接となる演出は控えましょう。
- ・屋内イベントの場合は、会場管理者と相談して、イベント集客数や会場の換気性能に応じて、イベント中の定期的な会場換気のための休憩回数や休憩時間を予め設定しましょう。
- ・発熱や咳、咽頭痛等の症状があるお客様が来場を控えられる場合の払い戻し等の措置を予め規定するとともに、

急なキャンセルにも対応できることをチラシ等で案内しましょう。

▶感染状況によっては入場制限等を行う場合があることについて、お客様に事前に周知しましょう。

- ・開催に当たっては、ガイドラインに沿った対応を行う旨を、HP・チラシ等で公表しましょう。

## (2) 会場設営

- ・設営から競技終了までに十分な時間を設定し、全体を通じて密な空間の防止に努めましょう。

▶作業ごとにスタッフを選定することも有効です。

- ・フィジカルディスタンスは、触れ合わない程度の距離を取りましょう。

開場に備えて会場の扉や窓を開けるなど施設全体の十分な換気をしましょう。

▶空気を入れ替えることが重要です。換気扇や扇風機なども活用しましょう。

▶二酸化炭素濃度測定機器等で二酸化炭素濃度が 1,000ppm 以下であることや、機械換気設備によって換気量30m<sup>3</sup>/時/人が確保されているか確認しましょう。

- ・競技者や監督、コーチ等が大声を発生する競技の場合、競技場と観戦スペースの間にフィジカルディスタンス（最低2m）を確保できる空間を設けたり、アクリル板やビニールカーテンで遮蔽しましょう。

▶着席により定位置で観戦する場合はお客様の前だけの遮蔽も有効です。

▶客席より高い位置に競技場を設ける場合は、より十分な距離を確保しましょう。

- ・競技者や監督、コーチ等が大声を発生する競技の場合、競技者同士等のフィジカルディスタンスを確保できる空間を設けたり、アクリル板や透明ビニールカーテンで遮蔽しましょう。

- ・お客様が会場内や会場周辺で密集しないよう、行列が想定される場所にはフィジカルディスタンスを確保できるよう床にテープを貼る等で目安も示したり距離をとっていただくよう掲示をしましょう。

▶会場入口、トイレ、ロッカー、物販ブース、交通機関の乗降者場所等、混雑が想定される場所の対策を行いましょう。

▶立ち位置の目安が示せない場合は、お客様同士でフィジカルディスタンスをとるよう呼びかけたり、掲示を行いましょう。

▶トイレの混雑対策として来入場前に用便を済ますように事前に呼びかけたり、掲示を行いましょう。

▶屋外イベントの場合は、トイレの数以上の手洗い設備も準備しましょう。

▶ロッカーの使用については、予約制も取り入れましょう。

▶全国的・広域的なイベント等の場合は、お客様が密集しないための誘導スタッフを配置し、適切に誘導するとともに誘導スタッフからの情報収集とお客様への情報発信を行いましょう。

- ・トイレのドアノブ、ロッカー等の多くのお客様が触れる部分は入念に拭き取り清掃・消毒しましょう。

- ・会場内トイレでは、ペーパータオルを設置するか、個人用タオルの利用を促しましょう。ハンドドライヤーを使用する場合は、定期的な清掃や消毒をしましょう。

- ・スタッフ及び競技者はお客様用のトイレの使用を控えましょう。

▶お客様とトイレを共有する場合は、これまで以上に手洗いの励行を呼びかけましょう。

▶マラソンイベントなどの場合は、始点、休憩所、終点に手洗い設備を準備しましょう。

## (3) その他

- ・スタッフ及び競技者に出勤前に体温を測定させ、発熱や咳、咽頭痛等の症状があるスタッフ及び競技者は参加しないよう呼びかけましょう。

▶体温測定は必須ではありません。ただし、競技者同士による激しい接触を伴う競技の場合は、過去7日間にわたる競技者の健康状態や競技者の家族や知人の感染疑いの有無を確認しましょう。

- ・ 感染したスタッフ及び競技者や感染疑いのあるスタッフ及び競技者は出席しないよう徹底しましょう。
- ・ スタッフ及び競技者の控え室等では、使い捨ての紙皿やコップを使用しましょう。
- ・ アルバイト採用者、スタッフ及び選手などのイベント関係者の緊急連絡先を把握しましょう。

### 3 入場（開場）

- ・ チケット確認をするスタッフは咳エチケットを実践しましょう。
  - ▶ デジタルチケット等の活用による非接触の入場受付やお客様自身が切ったチケットの半券をスタッフが確認する方法も検討しましょう。
- ・ 会場出入口でお客様が密集しないよう、間隔をあけて並んでいただいたり、チケット番号等により入場できる時間を設けるなどの対応をしましょう。
  - ▶ 開場から競技開始までの時間を長めにとって、入場の混雑を緩和しましょう。
- ・ 発熱や咳、咽頭痛等の症状のあるお客様には来場いただかないよう呼びかけたり、掲示を行いましょ。
- ▶ 非接触型体温計による体温測定も有効です。
- ・ お客様に、入場時に手指の洗浄や消毒を呼びかけたり掲示を行いましょ。
- ▶ 会場入口や手洗い設備付近にアルコールを設置しましょう。
- ▶ マスクを持っていないお客様にはマスクを配布しましょう。
- ・ お客様に、パンフレット等を手渡しで配布することを避けましょ。
- ・ 会場内外でお客様が集まって騒ぐことのないよう、呼びかけたり掲示を行いましょ。
- ・ お客様がロッカー付近で密集しないよう、テープによる目安等に従ってフィジカルディスタンスをとるよう呼びかけたり、掲示を行いましょ。
- ・ 屋内イベントの場合は、お客様が会場に入場した後も扉や窓を開けるなど、競技開始直前まで会場全体の換気をしましょ。
  - ▶ 空気を入れ替えることが重要です。換気扇や扇風機なども活用しましょ。
- ・ 想定した集客数を超える入場にならないよう、入場制限も実施しましょ。

### 4 物販（グッズを販売するなど該当する場合）

- ・ 物販（食品提供を含む）を伴う場合は、「販売促進イベントにおける新型コロナウイルス感染拡大予防対策例」を参考にして、密閉、密集、密接の感染リスクを減らしましょ。
- ・ 競技者へ栄養補給等としてドリンクや果物を差し入れする際は、個人ごとに使い捨て容器で提供するようにしましょ。

### 5 公演（競技者サイン抽選会の併催など該当する場合）

- ・ 公演を伴う場合は、「公演イベントにおける新型コロナウイルス感染拡大予防対策例」を参考にして、密閉、密集、密接の感染リスクを減らしましょ。

### 6 競技中

- ・ 屋内イベントの場合は、換気扇を起動し、常時可能な限り会場を換気しましょ。
- ・ 競技者以外の選手や監督、コーチ等にマスクの着用を呼びかけましょ。
- ・ 接触（肩を組む）等の密集・密接となる応援は控えるよう呼びかけたり、掲示を行いましょ。
  - ▶ 競技者以外の選手や監督、コーチ等による接触（ハイタッチやハグ）等の密集・密接となる行為も控えましょ。
- ・ 屋内イベントの場合は、競技の合間などに扉や窓を開けるなど、定期的に会場全体の換気をしましょ。
  - ▶ 空気を入れ替えることが重要です。換気扇や扇風機なども活用しましょ。

▶夏場はエアコンの温度をできるだけ低く設定するなど、熱中症にも気を付けましょう。

## 7 退場（閉場）

- ・ 会場出入口や施設出入口でお客様が密集しないよう、チケット番号等による規制退場を誘導しましょう。
  - ▶退場する際もお客様同士で間隔をあけていただくよう呼びかけましょう。
- ・ 会場内外でお客様が集まって騒ぐことのないよう、呼びかけたり掲示を行いましょう。
- ・ 会場を出た後は、駐車場や会場から最寄り駅までの道路でお客様が密集状態にならないよう、様々な移動手段を設定して速やかな帰宅を呼びかけましょう。
  - ▶混雑が生じて近隣住民の迷惑にならないよう、スタッフがお客様を誘導しましょう。
  - ▶シャトルバス等を運行する場合は、バス内やバス停付近の混雑にも注意しましょう。
  - ▶公共交通機関は分散して利用するよう呼びかけましょう。

## 8 閉場後（撤収）

- ・ 閉場から撤収までに十分な時間を設定し、全体を通じて密な空間の防止に努めましょう。
  - ▶作業ごとにスタッフを選定することも有効です。
- ・ ゴミ出しの後は必ず手を洗いましょう。
- ・ 連続した競技日程の場合は、明日の競技日程に備えて扉や窓を開けるなど会場全体や控え室等の十分な換気をお願いします。
  - ▶空気を入れ替えることが重要です。換気扇、扇風機なども活用しましょう。
- ・ 連続した競技日程の場合は、会場や競技者の控え室等の清掃を徹底し、トイレのドアノブ、ロッカー等の多くのお客様が触れる部分は入念に拭き取り清掃・消毒しましょう。
- ・ 連続した競技日程の場合は、スタッフのユニフォームや衣装はこまめに洗濯しましょう。